

4 情報の収集・発信にあたってー琉大の情報基盤を使うー

本章では、情報基盤統括センター（以下、センターとします。）が導入しているシステムについて、ウェブサイトのどこにどのような使い方の情報が掲載してあるか紹介し、特に重要な情報に関して説明します。

注意 2025年10月から新システムに移行済みです。本稿の設定の表示がやや変わります。電子メールはOutlookのみになり、e260001@eve.u-ryukyu.ac.jpのアドレスはなくなりました。DeepMailも使えなくなりました。メールは、e260001@cs.u-ryukyu.ac.jpのOUTLOOKのみです。

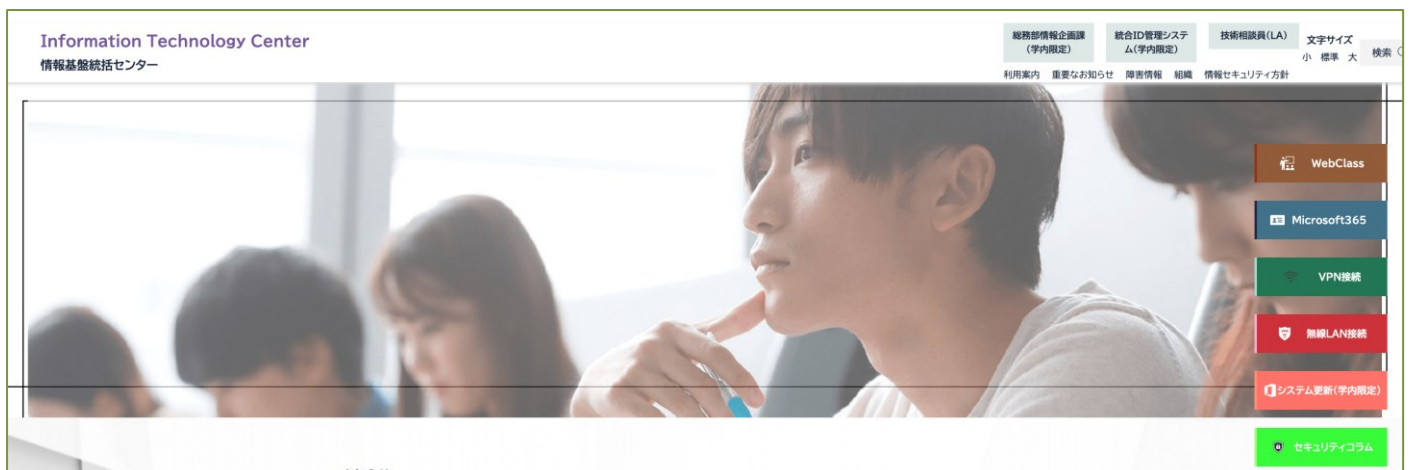
4.1. 情報基盤統括センターウェブサイトの紹介

センターのウェブサイトへのURLは次のとおりです。

<http://www.itc.u-ryukyu.ac.jp/>

アクセスすると、ホーム画面が表示されます【図4-1①】。ホーム画面の内容について説明をします。

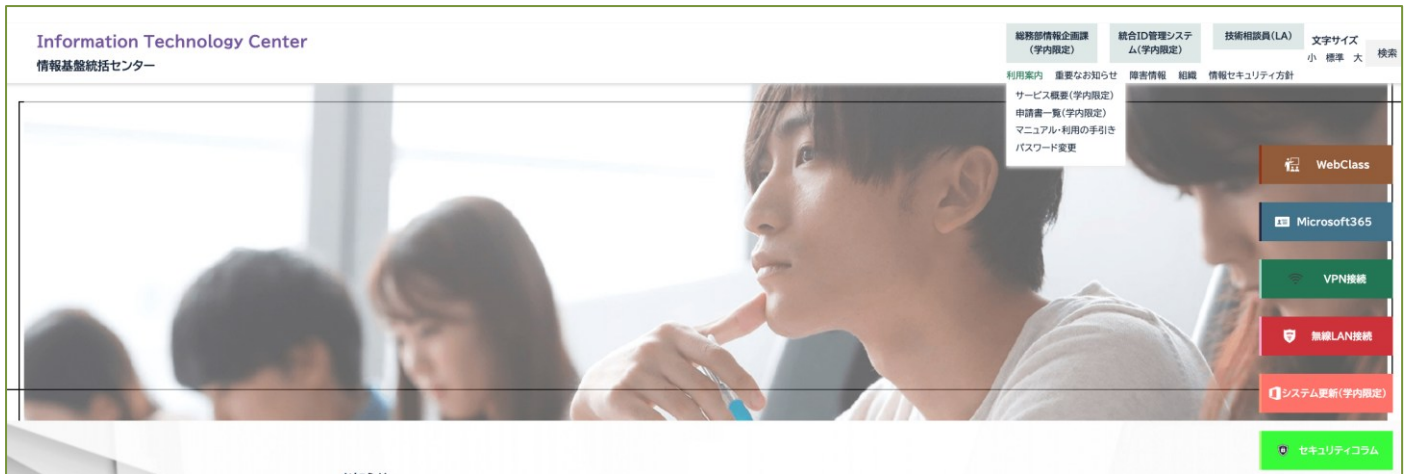
※学外ネットワークからアクセスした場合は、学内限定ウェブサイトの一部が表示されません。また、内容は随時更新されます。



【図4-1①】 ホーム画面








【図4-1②】 ①でホーム画面の重要なお知らせをクリックした画像




【図4-1③】②の「利用案内」をクリックした画像

4.1.1. タブ

センターウェブサイトの右側の縦書きのタブ（【図4-1①】）について説明します。

				
WebClass のログイン画面へのリンクとマニュアルが掲載されています。 (4.4.参照)	Microsoft365のページにジャンプします。	VPN接続のページにジャンプします。	無線LANのページにジャンプします。	セキュリティコラムのページにジャンプします。

これらは利用案内からも参照することができます。【図4-1③】の右側のタブについて説明を行います。

	ホーム画面に戻ります。
利用案内	利用案内が記載されています。4.1.2.を参照。
重要なお知らせ	センターからのお知らせが記載されています。
障害情報	障害の履歴が記載されています。

4.1.2. 利用案内

【図4-2】にセンターの沿革、利用規程、組織、運用案内、アクセスなどが示されています。

[サービス概要](#)

[様式・各種申請書](#)

[パスワードの変更](#)

【図4-2】センターの利用案内

4.1.2.1. サービス概要

各種サービスの説明がなされています。

4.1.2.2. 様式・各種申請書

各種申請書の形式（Word，PDF形式）と各種サービスの料金表が掲載されています。形式をダウンロードして所定の事項を入力し、申請してください。

4.1.2.3. パスワード変更

パスワードの変更ができます。

4.1.3. 重要なお知らせ

重要なお知らせや新着情報が掲載されています。停電に伴うネットワークの停止についてといった情報がリンクされています。更新されますので、常にチェックしましょう。

4.1.4. 障害情報

障害情報が掲載されています。

4.2. サービス概要

【図4-2】のサービス概要をクリックします。このサイトは学内限定です。学内限定サイトを学外から見る場合は、VPN（4.10参照）を介して接続しましょう。

4.2.1. 個人向けサービス

メール、WebClass、無線LAN、Office365、VPN接続などの情報が掲載されています。

4.2.2. 組織向けサービス

下記サービスなどが記載されています。

Webサービス	http://w3.u-ryukyu.ac.jp/~***で表されるウェブサービス
独自ドメインWebサービス	www.xxx.skr.u-ryukyu.ac.jp(xxxは組織名)で表されるウェブサービス
仮想サーバサービス	共有サーバ上で、仮想機器の管理権限を各々に与え、その上で利用したいOSやソフトウェアをインストールして利用できるサービス
メーリングリスト	メーリングリストサービス

4.2.3. その他

ウイルス対策ソフトApex One、eduroam、ソフトウェア貸し出し、機器の貸し出しなどが記載されています。

4.3. ユーザ情報変更

パスワードの変更を行うことができます。【図4-2】のパスワードの変更をクリックすると、【図4-3】の画面が表示されます。



【図4-3】 ユーザ情報変更サービス

ユーザIDに関する注意

在学学生は学籍番号に基づくe26****のようになっていますが、新生は学籍番号ではなくなります。配布されるパスワードの紙に書かれたユーザIDを使ってください。本稿ではe260001として説明します。

「こちら」をクリックすると、【図4-4】のユーザ情報ログイン画面が表示されます。

【図4-4】 ユーザ情報ログイン

ユーザーIDにメールアドレスのcs.u-ryukyu.ac.jpの前、パスワードにパスワードを入力すると、ログインできます。学外からは2段階認証が必要になります。図4-1①の上部の「統合ID管理システム」を参照下さい。

4.3.1. パスワードの変更

以下のURLにアクセスし、

<https://lm.u-ryukyu.ac.jp/webmtn>

シングルサインオンでログインします。左側のパスワード変更をクリックすると、【図4-5】のパスワード変更画面が表示されます。

【図4-5】 パスワード変更画面

上の枠内の、新パスワード、新パスワード（確認）に新しいパスワードを入力し、下の「保存」をクリックします。新しい画面のOKをクリックします。

4.3.2. メールエイリアス設定

本サービスは2025年9月で終了しました。

4.3.3. UNIX情報変更

図4-5の左のプロファイル変更をクリックすれば変更できます。研究用サーバーは2025年10月から廃止されています。


4.3.4. 利用状況表示

「利用状況表示」も2025年10月から廃止されています。

4.3.5. ログアウト

ログアウトするには、「ログアウト」をクリックします。必ずログアウトしましょう。

4.4. WebClass

メインページの  をクリックします。【図4-6】のような画面が開きます。



【図4-6】 WebClassのページ

LMS（Learn Management System）であるWebClassのURLとマニュアルが示されています。「[WebClass](#)」をクリックすれば、WebClassが開きます。「[マニュアルはこちらをクリック](#)」をクリックすれば、【図4-7】の画面が開きます。

WebClassマニュアル

[WebClassマニュアル](#)

日本データパシフィック株式会社ページへのリンクです。くいくつかマニュアルと動画があります。

[遠隔授業に関するまとめ](#)

教務情報ページに、各種情報が掲載されています。

【図4-7】 WebClassの画面

【図4-7】の「[WebClassマニュアル](#)」をクリックすれば、マニュアル（【図4-8】）が表示されます。マニュアルに使い方が詳細に書かれています。



【図4-8】 WebClassのマニュアルページ

4.5. ウイルス対策ソフト

学内のネットワークに接続されたPC向けに、ウイルスバスターApexOneを提供しています。皆さんのノートPC（Windows,Macとも）にインストールできます。ウイルス駆除用のパターンファイルは、学内LANでしかダウンロードできません。主に学内LANで使用するPCのみにインストールしてください。【図4-1②】のサービス概要をクリックし、下方にスクロールして、「（詳細）←クリック」をクリックします。

— ウィルス対策ソフト [\(詳細\)←クリック](#)

利用者の端末にウィルス対策ソフトウェアを導入できます。
利用には、ユーザID登録を取得する必要があります。

【図4-9】 ウィルス対策ソフト

4.6. メールの使い方

電子メールの設定ならびに使い方に関する説明を示します。

4.6.1. 電子メール

DEEPMailというWebMailは2025年10月で廃止しました。Outlookというメールを使います。ブラウザで[\[outlook.office.com\]](https://outlook.office.com)に移動します。【図4-10】のように、e260001のIDの方は、メールアドレスはe260001@cs.u-ryukyu.ac.jpとなります。



【図4-10】 Outlookのログイン画面

メールアドレスとパスワードを入力し、「サインイン」をクリックすれば、Outlookにログインできます。Windows, Mac, iPhone, Androidに専用のアプリもあります。同様にログインできます。マニュアル(<https://www.itc.u-ryukyu.ac.jp/wp-content/uploads/Outlook.pdf>)を参照しましょう。

4.6.2. メールエイリアス

4.3.2.を参照

※2025年10月で終了しました。

4.6.3. Thunderbird


軽い（アクセスが早い）フリーメールソフトウェアです。OAuth2.0にも対応していますので、Outlookメール（e260001@cs.u-ryukyu.ac.jp）も送受信できます。

【表4-1】IMAPs/SMTPsのポート番号

	サーバ名	プロトコル	ポート番号
受信(IMAPs)	mls.u-ryukyu.ac.jp	SSL/TLS	993
受信(PoPs)	mls.u-ryukyu.ac.jp	SSL/TLS	995
送信(SMTPs)	mls.u-ryukyu.ac.jp	SSL/TLS	465

注意 Outlookメールを見る場合は、OAuth2.0の設定をしましょう。

4.7. 学内無線LAN

ホーム画面で  をクリックします。【図4-11】の画面が表示されます。下方にマニュアルがリンクされています。



【図4-11】無線LAN接続サービスについて

4.7.1. 設置場所

「[無線LANアクセスポイント一覧](#)」をクリックすると、設置場所が示されます。設置場所は随時変更しています。

4.7.2. Windows PCの設定方法

マニュアルに従い、無線LANエリアでインストールしてください。設定には、証明書のインストールが必要です。無線LANのSSID「cnc」に接続することでセンターウェブサイトよりダウンロードできます。

4.7.3. Macの設定方法

マニュアルに従い、インストールしてください。設定には、証明書ファイルのインストールは不要です。

4.8. PC実習室

全ての実習室、オープンサテライトのPCは2025年10月で撤去済です。自分のPCを持ってきましょう。

4.9. ホームページの作成と出版方法

センターでは、ユーザ各自のホームページ（以下、Web）の公開も許可しています。Kompozerを用いた、Webの作成方法と公開方法のマニュアルを示します。

センターでは、次の3種類の方法でWebを公開できます。

- 1) 教育用ユーザID登録または教育研究用ユーザID登録を利用する。
- 2) Webサービスを利用する。
- 3) 独自ドメインWebサービスを利用する。


教育用サーバ（ホスト名：cc.u-ryukyu.ac.jp）にファイルを転送します。「~ユーザID/WWW」というフォルダを作成し、実行権限を付与する必要があります。e260001というユーザがWWWにindex.htmlという名前のファイルを転送した場合、「http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~e260001/index.html」でそのファイルは公開されます。

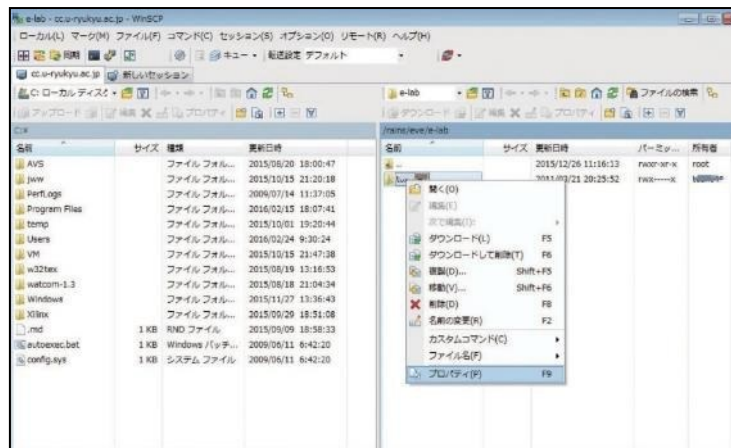
① 「~ユーザID/WWW」というフォルダを作成し、実行権限を付与する方法

1回だけ行えばよい操作です。

WinSCPを立ち上げます。ファイル（F）→新規→ディレクトリで、下記の画面が表示されますので、「8進数」に「0701」を入力します。



OKをクリックします。次に、WinSCPの右側の画面の一番上の  をクリックし、自分のユーザ名のフォルダを右クリックし、Propertiesをクリックします。同様に「8進数」に「0701」を入力します。WinSCPを終了します。



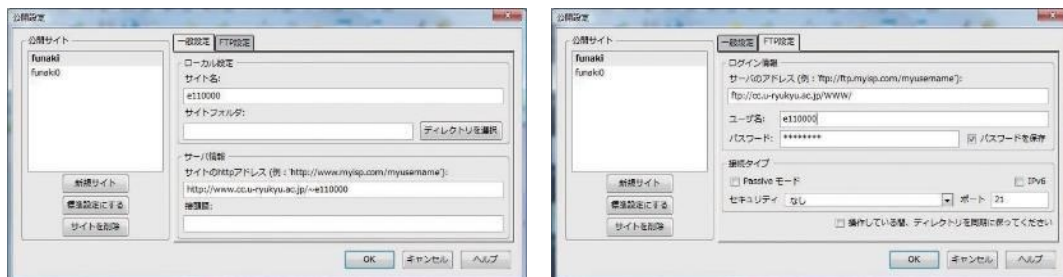
②Kompozerからの出版方法

作成したHTMLファイルを自分のディレクトリのWWW以下にコピーする方法として、WinSCPで転送する方法もありますが、Kompozerから簡単にファイルの転送が行えます。この方法は学内からのみです。学外からはVPN (4.10.参照) を介しての利用になります。

「編集」タブの「公開サイト設定」をクリックします。



「新規サイト」をクリックすれば、「公開設定」というタイトルの画面が立ち上がります。次のようにサーバの設定を行います。



【表4-2】 ホームページ転送のためのアドレス

一般設定タブ		FTP設定タブ	
サイト名	e260001	サーバのアドレス	(教育用) ftp://cc.u-ryukyu.ac.jp/WWW/
サイトのhttpアドレス	http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~e260001	ユーザ名	e260001
		パスワード	設定しているもの

フォルダ名にWWW以下のフォルダ名を書きます。WWW直下にファイルを置く場合は、フォルダ名は書きません。UsernameとPasswordを間違えないように気をつけてください。



の公開ボタンをクリックすれば、サーバにコピーされます。

「<http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~e260001>」でWebが表示されます。

※ 「Kompozer以外にもSeamonkey (<https://www.seamonkey-project.org/>)」などを各自のPCにインストールしてお使いください。

4.10. 学外からの接続 (VPN)

学内限定のページを閲覧する場合は、VPNを利用します。VPNの設定方法は、以下のとおりです。

- ① ホーム画面の  をクリックします。



【図4-12】学外からの接続について

②【図4-12】で示される手段でVPN接続を行います。


※ほかの利用者のために、利用が終わったら、ログアウトしましょう。

4.11. パスワードを忘れたら

パスワードの再発行になります。パスワード再発行申請書に必要事項を記入し、センター受付に提出してください。原則7日後に再発行になります。

4.12. Microsoft365について

Microsoft365が利用可能です。自分のノートPC（Windows,Mac）、スマートフォン（iPhone,iPad,Android）などにオフィスアプリケーションをインストールでき、学部、大学院を卒業するまで使用できます。オフィスアプリケーションのインストールや使用条件については、[センターウェブサイト](#)を参照ください。

 をクリックして、インストールしましょう。

4.13. Microsoft Teamsについて

リモート講義で[Teams](#)を使います。【図4-13】のように、e260001の方のIDは、e260001@cs.u-ryukyu.ac.jpになります。パスワードは同じです。

※Teamsのチームを学生が作成するには、2名の教員の承認が必要になります。



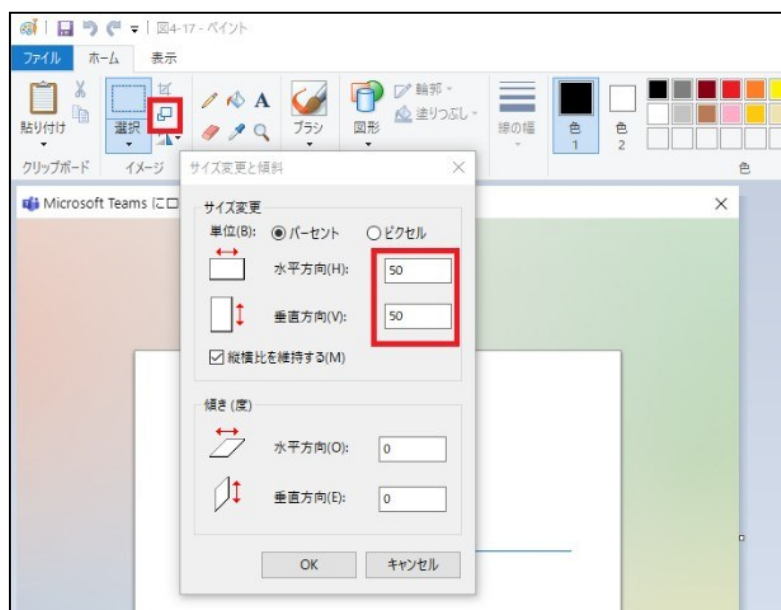
【図4-13】 Teamsのログイン方法

4.14. 画像ファイルの縮小について

WebClassなどでレポートなどを提出する場合、スマホで撮影した写真をWordに添付して提出する場合があります。写真の解像度は高く、ファイルが大きすぎてアップロードできないことが起きるし、仮に、アップロードできても、WebClassのディスクを圧迫することになります。ペイントを用いて、画像ファイルの縮小方法を示しますので、肉眼で見える程度まで画像を圧縮しましょう。

ペイントを立ち上げ、「ファイル」→「開く」で画像ファイルを開きます。

『選択』の横のサイズ変更で【図4-14】の「サイズ変更と傾斜」ウィンドウを表示させ、水平方向と垂直方向の数値を適切に入力します。50で1/4になります。あとは、「選択」で「すべて選択」を選び、コピーさせ、Word上でペーストします。



【図4-14】 ペイントによる画像ファイルの縮小

4.15. 情報処理技術者試験について

情報処理技術者試験は、「**情報処理の促進に関する法律**」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している**国家試験**です。ITパスポート試験、基本情報技術者試験などがあります。CBT試験ですので気軽に受験できます。ITパスポート試験は卒業までに合格しましょう。

4.16. 情報倫理

センター機器利用にあたっての注意を示します。本センターのコンピュータならびにネットワークは、教育、研究、学事の効率向上のために、導入されている共有設備です。法律や公序良俗に反する行為をしないだけでなく、モラルや常識を守り正しく利用しましょう。下記のことに著しく違反した場合、やむなく利用停止の処置を取ります。また、他大学で既になされているように、学内でも退学、停学などの措置が取られる場合がありますし、法的な制裁（罰金、懲役などの刑事罰や損害賠償などの民事罰）の対象になる場合もあります。

1. 違法行為、公序良俗に反する行為の禁止

・ 侵入行為、破壊行為の禁止

利用が許可されていないコンピュータに侵入しないように。侵入を試みただけでも刑法で処罰される場合があります。共用または他人のデータ、ソフトウェアなどを変更、消去、破壊しないように。ウイルスを配付することも破壊行為です。刑事罰の対象になります。

・ 著作権、肖像権の侵害の禁止

ホームページやブログなどに好きな歌手の写真を貼り付けたり、映画の動画ファイル、プログラムなどの著作物を掲載することは違法行為です。絶対に行ってはいけません。また、ホームページやブログなどに公序良俗に反する画像を掲載してはいけません。

・ 他人のプライバシーの侵害や名誉毀損、誹謗中傷の禁止

メールや掲示板、ブログ、簡易ブログ、SNSなどで他人を中傷するような文章を載せたり、他人のプライバシーを掲載してはいけません。また、他人のメールを見てはいけません。プライバシーの侵害になります。

・ チェーンメール、デマメールの禁止

チェーンメールや事実と異なるメール（デマメール）を送信することを禁止します。また、ネズミ講メールの送信やマルチ商法まがいのことを行わないように。もし、この種のメールが届いたら、無視して消去しましょう。これらの行為は、刑事罰の対象になります。

・ 他人へのなりすまし、匿名メール、匿名記事の禁止

アカウントを盗用し、他人になりすまして、メールを送ったり、掲示板、簡易ブログ等へ書き込むことは、倫理上許されない行為です。他大学で、名誉毀損で訴えられた例もあります。刑事罰の対象になります。電子メール、ホームページ、掲示板、チャット、ブログ、X（エックス）、SNSなどで発言を行う場合、自分の発言に責任を持ちましょう。

・違法コピー、ダウンロードの禁止

音楽、映像、書籍、ソフトウェアなどの著作物を違法にコピーして配布したり、ライセンス規約を守らずに利用してはいけません。自分で購入した著作物でもホームページで掲示したり、P2Pファイル共有ソフトを用いて、配布することは違法行為です。なお、著作権法が改正され、2013年1月より施行されています。違法に公開されている著作物をサイトから直接または、ファイル共有ソフトやオンラインストレージを介して、ダウンロードするだけでも、刑罰の対象になります。

・大量ダウンロードの禁止

電子ジャーナルやデータベースなどのデータを一度で大量にダウンロードすることはしてはいけません。ネットワークが専有され、他人の迷惑になります。

2. 営利行為等本来の目的に反する行為の禁止

営利行為や政治的宗教的な活動は一切禁止します。ホームページ上で、アルバイト募集の広告を出したり、通信販売、営利目的の宣伝活動を行ったり、特定の政治団体、宗教団体の活動を行なうことは禁止します。

3. セキュリティ、プライバシー、個人情報への配慮

・パスワード管理

パスワードは自分でしっかり管理しましょう。アカウントを貸与してはいけません。パスワードは絶対に他人には教えないように。自分の生年月日など他人に簡単に見破られるパスワードは使わないように。パスワードはできるだけ暗記しましょう。暗記できない場合は、他人に絶対見せない見られないメモ帳にメモするかケータイで写真を撮って保存しておきましょう。パスワードを忘れたらコンピュータが使用できなくなります。2つ以上のサイトで同一パスワードを使う『パスワードの使い回し』は危険です。全て違うパスワードを設定しましょう。

・コンピュータウイルス対策

ウイルス対策ソフトをすべての端末にインストールして、常に最新の状態に更新しておきましょう。スマートフォンなどにもウイルス対策ソフトを導入しましょう。WWWやCD-ROM等からダウンロードしたファイルは必ずウイルスチェックに通してから使いましょう。また、メールで正体不明の添付ファイルが送られて来た場合は、開かずに消去しましょう。ウイルスに感染する恐れがあります。セキュリティは管理者だけの問題ではなくユーザー一人一人の問題であることを、肝に銘じてください。

・個人情報とプライバシー

ホームページ上に自分の住所や電話番号などを安易に掲載しないように。個人情報が悪用されたり、嫌がらせなどの原因になります。自分のプライバシーは自分で守りましょう。また、クラス名簿などの個人情報が含まれるデータをUSBメモリで持ち運ぶ場合、USBメモリを紛失しないように、その取扱には注意しましょう。

4. エチケットを守る

センター内や実習室、サテライト内は禁煙であり、飲食物の持ち込みは禁止です。厳守してください。

コンピュータやネットワーク資源は有限です。他人が卒論のメ切などで忙しいときに、教育、研究とは関係のないWWWや動画を閲覧して無闇にコンピュータ、ネットワーク資源を使ったり、VPNを繋げっぱなしにしたりするなど、他人に迷惑をかける行為は慎みましょう。他人の迷惑を考えて、共有施設を正しく使しましょう。

5.盗難や紛失に注意

PCやUSBメモリなど重要な情報が入った情報機器の盗難や紛失には注意しましょう。

以上、述べたことが全てではありません。他にも注意しなければならないこと、やってはいけないことは沢山あります。大切なことは、良識、常識、モラルに従って、コンピュータネットワークを利用することです。思慮深い行動を心がけましょう。

情報倫理教材

[WebClass](#)で『情報倫理ビデオ小品集』と『INFOSS情報倫理』の教材が公開されています。WebClassにログインし、時間割下の『参加可能なコース』で総合情報処理センター（改組後、情報基盤統括センター）を選択すれば、それらのコースが表示され、メンバーになれば、活用できます。是非、活用してください。